

業務の一元化（巡視～調査～施工～追跡調査）

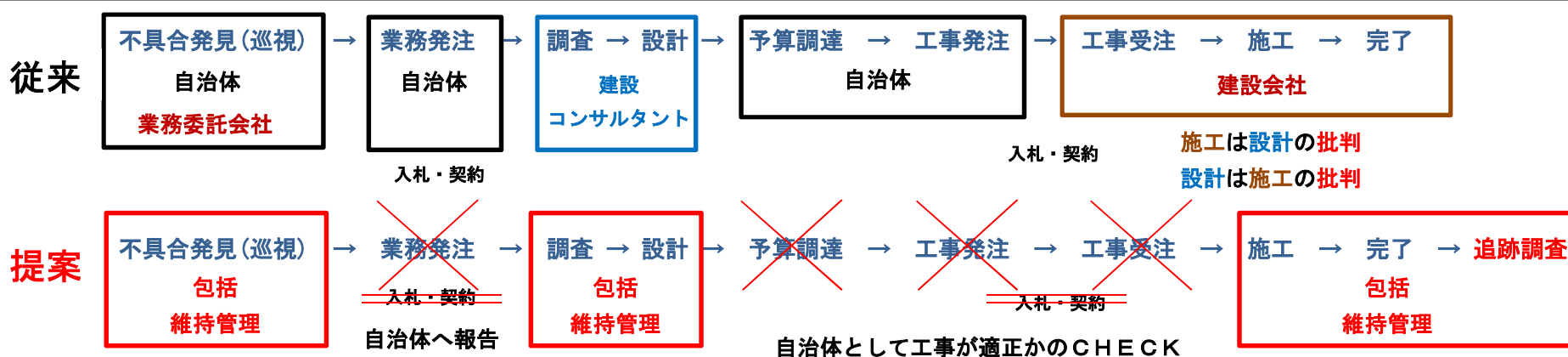
■インフラの維持管理・修繕等に係る官民連携事業の導入検討
□官民連携グリーンチャレンジモデル

①提案によって解決する自治体の課題のイメージ

・業務の一元化

【発注業務の削減】 【初期対応力の強化】
【受身の建設会社→自身で考え行動する建設会社へ】

②提案の概要



包括維持管理 ———— 地元建設会社(業務委託) 施工人材/機械。 地元(路線)状況の理解(経験) (知識/DX調査 弱) (対応力 強)
 ———— 地元建設コンサルタント会社 調査能力・技術力を持ち、適切な対応案の検討 (知識/DX調査 強) (対応力 弱)

例 路線毎予算(3年程度)を決め、包括維持管理による、巡視～調査～施工～追跡調査を一元化で行う。

③スキーム(技術)の導入により得られる効果

- ・建設会社と建設コンサルタント会社双方の能力向上。
- ・受身の仕事 → 主体的仕事への変化。(建設会社の責任感)
- ・巡視～調査～工事～追跡調査までの一元化。(最速対応)

その他

調査時にコンサルタント会社と建設会社が共同することで、適切でスピード感のある初期対応が取れる。
秋田県横手市内 人口9万人程度